



No.248
2020.9.6

四季報

発行
藤沢探鳥クラブ
〒251-0038
藤沢市鵜沼松が岡 5-13-13
藤山方 0466-25-1817



キアシシギ (2019年9月葛西臨海公園) 撮影: 水越 喜代蔵

<9月例会> 9月20日(日)

鎌倉広町緑地探鳥会

(軽い山道) ※雨天中止

まだまだ暑さが残りますが、鎌倉広町を散策し鳥や昆虫、植物との出会いを楽しみましょう。今回はコロナ感染予防の為、弁当なしで終わります。

集合 9:30 湘南モノレール西鎌倉駅改札口
(参考 湘南江ノ島駅発 9:19、大船駅発 9:15)
広町緑地管理事務所前 9:50 も可

持ち物 観察用具、飲み物、帽子、マスク

解散 11:30 頃 管理事務所前

担当・問い合わせ

嶋岡 0466-50-5816 石井 0466-86-0418

<10月例会> 10月18日(日)

寺家ふるさと村周辺探鳥会

(やや丘陵) ※雨天中止

まだ暑さが残るころ、里山で季節の移り変わりを感じながらゆっくり歩きましょう。

集合 8:10 小田急藤沢駅改札口
藤沢駅 8:18 発快速急行新宿行最後尾車両乗車 中央林間下車、田園都市線に乗り換え
9:01 青葉台駅着下車 9:19 発東急バス 鴨志田団地へ

持ち物 観察用具 弁当・飲み物 帽子雨具等

解散 14:30 頃 田園都市線市が尾駅

担当・問い合わせ

藤山 0466-25-1817 青山 0466-87-2489

川名通年探鳥会

7月5日(日) 8:00~10:05 曇り

菅谷 芳雄

梅雨の合間で、野鳥は多くはなかったが、久しぶりの例会を楽しみました。東奥田公園でハシボソカラスの若鳥に遭遇、川べりに着くや3種のツバメに会えました。本日の一押しは、カルガモ親子。3羽のひなを連れてた筈が、何のはずみか2羽のひなだけ先に川を下ってしまい、親カモは残ったひなを促して先の2羽に追いつこうと必死。無事合流に参加者はみな安堵。柏尾川を離れて川名に向かうも、谷戸の入口で雨が降り出し例会もここまで。新林公園に向かう途中で鳥合わせとなりました。

見聞きした鳥 アオサギ、メジロ、シジュウカラ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、イワツバメ、ムクドリ、ヒメアマツバメ、ツバメ、トビ、カルガモ、オオバン、カワセミ、カワウ、スズメ、ウグイス、キジバト、ヒヨドリ(18種)、(外来種 ガビチョウ、ドバト(2種))

参加者 秋山孝、佐藤武、城殿博、飯島秀子、菅谷芳雄、吉澤三郎、青山喜行、石井浩子、福田修子、森静子、大石正子、吉澤真弓、谷誠一、大山厚子、嶋岡章、藤山素子(16名)

8月2日(日) 8:00~11:00 晴れ

青山 喜行

長い梅雨がやっと明け、夏の日差しになって来たが、まだ余韻があるのか風は涼しく、しのげる暑さの中、ミンミンゼミやクマゼミなどが鳴き始め、やはり夏の訪れを感じた。

新川名橋では子育てが終了したのか、沢山いたイワツバメがいなくなり、柏尾川では以前沢山いたオオバンが、なぜか最近は見えなくなったが、カワセミ、イソヒヨドリ、アオサギなど、いつもの野鳥に会えて、のんびりと探鳥会を楽しみました。

見聞きした鳥 カルガモ、ツバメ、ムクドリ、カワセミ、スズメ、イソヒヨドリ、ハクセキレイ、コサギ、アオサギ、カワウ、トビ、キジバト、ハシブトガラス、ウグイス、ヒヨドリ

「キアシシギ」写真説明

2019.9.15 藤沢探鳥クラブの9月例会で葛西臨海公園に行きました。好天に恵まれ、園内をウオッチングセンターから鳥類園へと回り、アオアシシギ、コチドリなどを見ました。

観察場所を葛西渚橋から西なぎさの防波堤へ、東なぎさ側にある突堤に移動しました。突堤先端の石垣にはキョウジョウシギが、突堤の東なぎさ側ではキアシシギが餌を探していました。

水越 喜代蔵

リ、ハシボソガラス、メジロ、ヒメアマツバ
メ、シジュウカラ、カッコウ類 SP (20 種)

(外来種:ガビチョウ、コジュケイ、ドバト)

カッコウ類 SP としたが、距離が遠くシルエットのみではあったが、止まっていた時の尾羽の形態、体長がキジバトより大きかったためツツドリと思われる。(藤山)

参加者 佐藤武、城殿博、大石正子、福田修子、森静子、青山喜行、嶋岡章、谷誠一、菅谷芳雄、飯島秀子、石井浩子、藤山素子 (12 名)

大磯照ヶ崎探鳥会

7月19日(日) 曇りのち快晴 7:50~9:10

谷 誠一

大磯駅前で、全身体温を測り間隔を空けて出発。

照ヶ崎では、前夜雨が降り天候が曇りで我々を入れても20名(カメラマン2名)程度の観察者です。アオバトは、30羽・50羽の2群れに分かれ海水を飲みに来ています。この時間全体で120羽位が居たようです。波が穏やかで、アオバトの水飲みも余裕を感じられました。「こまたん」の金子さんのお話では、

「成鳥は波飛沫を少し被っても良いのですが、今年生まれた幼鳥は、死ぬことが多い。」これは、「羽がまだ小さく、羽に油分が少ない為海水を弾けず海中に落ち、浜に打ち上げられる事が多い。」幼鳥は7月下旬から徐々に増えて8月にかけてピークを迎える。アオバトを見ると心が安らぎます。

帰りには、雲が取れ真夏の日差に成り「雨具より水が欲しい。」と話しながら駅に向かいました。

見聞きした鳥 アオバト、ウミネコ、セグロカモメ、ツバメ、ハシボソガラス、ハクセキレイ、スズメ、カワウ (8種類)

参加者 菅谷芳雄、大山厚子、森静子、嶋岡章、大石正子、青山喜行、谷誠一 (7名)

8月23日(日)例会

講演会「鳥のくらしと生物多様性の保全」

講師 東京大学名誉教授 樋口広芳氏

場所 藤沢市民会館小ホール

参加者 会員28名、非会員50名

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとっての開催でしたが、78名の参加者があり、

里山の自然環境、サシバ、ハチクマの春秋の渡りのふしぎ、地球温暖化がもたらすもの等 100 分間のご講演に加え、熱心な質疑応答が交わされ、充実したひと時を持つことができました。



準備のためにご協力くださいました方々、そしてご参加くださいました皆様、お疲れ様でございました。そしてありがとうございました。(藤山記)

江の島探鳥会

7月10日(金) 曇り 8:50~11:45

谷 誠一

天気予報も昼から雨の予想の中。毎日新聞の記者因幡さんが観察会を記事にしたいと同行されました。今日の江ノ島は、人も、鳥も居ない静かな島です。

ニイニイゼミの鳴き声だけが聞こえる静けさ。その中をカラス 5 羽、3 羽は幼鳥で真っ赤な口を目一杯開けて餌をねだり、親鳥をつついて督促している。他にはムクドリ 30 羽以上の群れがあちこちで木の実を啄んでいます。

見聞きした鳥 ハクセキレイ、スズメ、カルガモ、ムクドリ、メジロ、ウグイス、コゲラ、ハシブトガラス、イソヒヨドリ、ハヤブサ、シジュウカラ、セグロカモメ、ヒヨドリ、トビ、カワウ、カワラヒワ (16 種) 他 ドバト、台湾リス

参加者 藤山素子、因幡健悦、谷誠一 (3 名)

『8月の探鳥会は、休みました。』

会 員 の 声

ホトトギス

2020.7.8 濱 伸二郎

今年は、コロナ騒動で春の渡り時期の野鳥観察が出来なかった。

家にいる機会が多く、家の周りに来るホトトギス(約28cm)の声を聴くことが多かった。キョ キョ キョキョキョキョと鳴く声が聞こえ万葉集の中でも歌で紹介されている。

声の聞きなしでは特許許可局、テッペンカケタカ、本尊カケタカと言われ、藤沢では5月中旬以降ごろから6月の始めに鳴き声を聴くことが多く、中国南部付近から繁殖の為に渡ってくる夏鳥です。

ホトトギス(カッコウの仲間)は体温調節が苦手で、自分では卵を温めることが出来ないと言われ、ウグイスに托卵する。ホトトギスの卵はウグイスの卵の色に似ており、ウグイスが巣を留守にした時、短時間で産み付けて托卵する。ホトトギスの声は聞こえるが、木、枝、葉に隠れ姿を見ることが難しい。

今年は5月25頃から聞こえ、6月1日は小雨降る日でしたがピピピと雌の声も聞こえ、その高木付近を望遠レンズ付カメラで撮影すると2羽のホトトギスが離れて止まっていた。翌日は声を聴くことが出来なかった。



6月18日は朝早くから声が聞こえ、鳴いている付近を見ているとハシブトカラスに追われ家に近い木に止まり大きな声で鳴いてくれた。(添付画像参照)

ウグイスの抱卵日数は14~16日とされ、ホトトギスは14日でウグイスより1~2日早く孵化しウグイスの卵を巣外に出す行動が知られている。

6月18日の声は孵化した雛に親の声を聴かせたのかもしれない。

新林公園の山道を歩く会

7月、8月は休みました。

運営委員会報告

運営委員会では、下記の議題について討議されました。

7月5日 四季報247号講評、次号248号について、講演会の役割分担、会計の引継ぎの問題など

8月2日 四季報248号について、大磯照ヶ崎の結果報告、9月、10月の例会の計画、講演会の詳細打合せ、来年度の講演会についてなど

行事等案内

川名通年探鳥会 毎月第一日曜日

10月4日(担当:藤山、未定)

11月1日(担当:橋本、未定)

集合時間 8:00 ※雨天中止

集合場所

JR 藤沢駅南口名店ビル前地下道入り口付近

江の島探鳥会

毎月第2金曜日 ※雨天中止

9月11日(金)・10月9日(金)

集合 8:30 解散 12:00頃

集合場所

江の島弁天橋を渡った左の公園藤棚の下

連絡先 谷 0466-34-0381

遠藤笹窪谷観察会

9月は、コロナ感染対策と残暑のため休みます。

新林公園の山道を歩く会

毎月第2火曜日 ※雨天中止

9月8日(火)・10月13日(火)

集合 9:00 新林公園パーゴラの下

解散 12:00頃 同上

連絡先 橋本孝 0467-85-6077

年会費について

年間 二千円です。納入されるときにはお間違えないようにお願いします。会計年度は4月から3月までです。

会費振込先; 郵便為替口座番号

00230-2-38355 藤沢探鳥クラブ

郵便局以外の銀行から振り込む場合は、

ゆうちょ銀行029店 当座0038355

フジサワタンチョウクラブ

なお、今年度からは探鳥会で現金でも受付ける事になりましたのでよろしくをお願いします。

藤沢探鳥クラブ連絡先等

藤山 素子 0466-25-1817

HPアドレス; <https://fujsbwc.jimdofree.com/>

ご寄附のお願い

消費税が10%になり、物価がじわじわと上がって来ています。本会の運営も厳しくなっています。いくらかでも会費プラスご寄附で年会費を納入して頂けると助かります。

長い梅雨が明けたと思ったら暑い夏が突然やって来て、新型コロナウイルス禍の中で、マスクをしながら熱中症防止という難しい生活が始まりました。探鳥会も再開しました。感染防止と熱中症対策をしてご参加を下さい。

投稿先を下記します

皆様のご協力をお願いします

嶋岡 章(原稿)

〒251-0052 藤沢市藤沢545-72-401

e-mail: akiras.shimaoka@gmail.com

電話/FAX 0466-50-5816

青山 喜行(写真)

〒252-0816 藤沢市遠藤930-5

e-mail: aoyama-y@jcom.home.ne.jp